



巻頭のあいさつ

令和元年8月九州北部豪雨の影響につきまして

9月の台風16号、10月の19号により被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

佐賀県に大きな被害をもたらした8月の豪雨ではたくさんの方からご心配の声をいただきました。ありがとうございました。こちらは何事も無く、おかげさまで無事に生産が出来ております。

被害が大きく、全国版のニュースで報道された武雄市はすぐ隣の自治体です。もし、あのとときの雨雲の場所があと5km南だったら、私たちのところも危なかったかもしれません。

豪雨被害は免れましたが、その後の台風17号で工場のスレートが飛んだり、穴が開いたりしてしまいました。この先、想定外の状況が起こる可能性は十分にあります。今後の災害に対する備えを考えていかなければなりません。

福岡での個展にお邪魔してきました!

10月に鹿谷敏文さま、11月に大野佳典さまの個展が大丸福岡天神店にてあり、行ってきました。普段は、なかなかゆっくりお話しする機会が無いので、いろいろなことを伺うことが出来て、すごく貴重な時間でした。

今後も、当社へみなさまの個展・作品展の案内をお送りいただくと嬉しいです。



鹿谷さま
作品

鹿谷敏文さまの個展



大野佳典さまの個展

大野さま
作品

地元の塩田小学校の4年生が工場見学に来てくれました!

私たちの町を流れる塩田川について調べる総合学習の一環で来られました。この地域で粘土の原料として使われている天草陶石が昔、塩田川を利用して運ばれていたことから当社の見学になったとのこと。

最初は、天草陶石について調べる担当の子どもたちだけの来社予定が、急遽クラス全員となりました。時間は45分間のみでしたので、テーマに関することだけに絞って見てもらいました。

地域の歴史の一部が、子どもたちの記憶の隅に少しでも残ってくれると嬉しいです。 瀧野直幸



塩田小学校の
4年生のみなさん



スタンプの動きに
興味津々!

対馬の現状

後編

徴用工訴訟から波及した日本の韓国に対する優遇措置撤回によって、9月以降、韓国人観光客が超激減! 私たちの町ではほとんど見かけなくなりました。

会社の近所に漁火公園というところがあります。眺望がすごく良く、足湯があって、浸かりながら景色を眺めたり、遊具もあるので大人も子どもも楽しめます。夜にはその名の通り、対馬の海にきらめく漁火をみることが出来る場所です。

平成22年、この公園のすぐ隣に韓国資本のホテルができました(前編で出てきたホテルです)。これ以降、韓国人観光客の増加とともに、漁火公園は韓国人が訪れる場所となりました。休日ともなるといっぱいです。

9月以降観光客が来なくなると、ゴミがなくなり綺麗な公園に戻りました。休日には地元の子どもの遊び声が聞こえるようになり、対馬高校ブラスバンド部の生徒たちの練習する音が、また響く

ようになりました。

私個人的には、一分一秒がゆっくりと流れる対馬らしさが戻り、心地良さを感じています。

その反面、街中の韓国資本に移り変わったたくさんの店舗では、軒並みシャッターが閉じた状態になり、過疎化が急激に進んだ感じも否めません。物事の善し悪しを判断するのは難しいですね。

平成29年、時限立法ではありますが国境離島の住民の生活を守るための予算(有人国境離島新法)が施行されました。この法律に基づく交付金や助成金により業種によっては恩恵を受け、雇用拡充になってはいるようですが、残念ながら離島住民の暮らしが全体的に良くなってきた感じはありません。

新法によって飛行機も船も半分の価格で乗れるようになりました。しかしながら、島民にしか適用されないこれらの割引は、島外へ出やすくしてしまう側面も

あり、諸手を上げて喜べるものではありません。

今後は韓国人だけに頼らず、日本国内から対馬へ来てもらいやすくする施策も必要だと思います。

八重島窯業原料(株)と申します。

「対馬の現状」後編です!

私共は長崎県の「対馬」で「曹(ソーダ)長石」の採掘販売を大正時代より100年間続けております。

対馬長石(対州長石)は「硝子(がいし)」用原料から始まり、注射器やアンブルなどの「ガラス」、タイル目地の「白色セメント」、釉薬原料として波佐見・有田焼などの「食器」、トイレや洗面台の「衛生陶器」、などなど様々な用途で皆様にご愛用いただいています。

平成4年には蛍光X線化学分析装置を導入、品質管理を徹底し、限りある大切な資源の有効活用と安定供給に全力で向き合っているところです。是非この機会に弊社ホームページを

ご覧ください。



HP→<http://www.yaeshima.co.jp>



対馬(対州)長石採掘場



会長さんの 第19話 昔話



昭和56年ごろだったと思います。私は町内の飲食店に向かいました。呼び出したのは、同業者のO.Sさん。座敷に上がり、向かいに座るよう促されました。そして、切り出された話は、作り始めたポールミルでの白くて安い粘土への苦言と、それを止めさせるため

の脅し文句。「お前がやっていることは、天草陶石の正しい使い方ではない。止めないと天草陶石を購入できないように手を回す」と。ふすまで隔てられた隣の部屋にも人の気配。この人物が今回の件の黒幕、同業者組合の当時の理事長K.Sさん。この頃、組合加入の同業者の数は55軒、年間売上25億円の中で権勢を振るっていた人がいた、ということでした。

この後です。ポールミルを設置した業者は、スタンパーの一部を撤去しなさい、という取り決めになされたのは。好景気の中で、他社に増産させないために足を引っ張るのです。こちらの業界でポールミルが広がらなかつたのは、これが大きな要因だと思っています。

彼らは、これ以前にスタンパーを20本以上設置してはならない、という通達を出していました。スタンパーの本数と生産能力です。しかし、通達した本人たちにとっては、20本よりもたくさんあるのです。当社もすでに20本以上あり、お咎めはありませんでしたが、設備投資したい同業者に規制を掛け、増産させませんでした。かなり締め付けられました。そんな出来事ですが、そんな新しい粘土を作っていました。

窯から出ですぐに割れるのもあれば、一週間くらい経ってから割れるものもある。焼き上がった商品として出荷できません。その窯元さんの倉庫では、ピン、ピンとやきものが割れる音が来りました。(次号につづく)



淵野義則

こちら、たけふみです!



はじめまして。長男の剛史です。姉と同様、強制的に書かされています(笑)。長崎大学工学部工学科の2年生です。

8月のお盆からが夏休みだったので、その期間を利用して自動車の免許を取りました。

平成29年3月12日から免許制度が新しくなっていて、現在の普通免許では2トントラックを運転することが出来ません。ですので、準中型の免許を取りました。もちろんマニュアルです。

教習期間の途中、8月28日が佐賀の豪雨でした。通っていたのは、油流出で大々的に報道された大町町にある大町自動車学校。冠水して孤立した順天堂病院のすぐ近くです。もちろん、被災しました。

教習車や事務所が浸かり、しばらく受講は出来ませんでした。ひと月くらいは無理だろうとの連絡でしたが、2週間後くらいから徐々に再開されていきました。

行ってみると、名前の違う教習車が何台もありました!九州内あちこちの学校から借りてきたそうです。建物の一階は冷房が使えなかったり、床や壁の張替えがなかったり、仮設のトイレだったり、復旧に向けての工事があっていました。

再開後に気になることはありませんでしたが、自動車学校の職員の方は、「冠水による被害よりも油の臭いの方が酷くて辛かった」と言われていました。そんな状況でも皆さん明るく楽しく指導してくださいました。

実技の教習は、初めからトラックで行うのではなく、まずは普通車で練習。初めて運転するときは、緊張しすぎてかみすぎと注意されました。教習中に脱輪したり、エンストしたりもしました。他にも普通車で高速道路を走ったり、シミュレーターで夜間や雨天時での走行を体験したりしました。順調に教習が進み、トラックで練習し始めると普通車より周りが見やすかったです。

災害がありはしたものの、仮免も卒検も一発合格で卒業しました。当初の予定より遅れましたが、無事に免許を取ることが出来てよかったです。



淵野剛史

スタッフ紹介

鈴木です



入社2年目、1月で20歳になります。趣味はバイクとギター。バイクは高校2年の時に原付の免許を取ってからハマりました。ギターは父が弾いていたので、小さい頃から触ってはいましたが、まだ上手く弾けません。



良いお年をお迎えください! 来年もよろしくお願ひいたします

今までの「ジキよまんば!」 ゆっくり(笑)読めます!

ホームページに、ジキよまんばのバックナンバーを掲載しています。過去のニューズレターはこちらからご覧ください。



有限会社 淵野陶磁器原料

〒849-1426 佐賀県唐津市塩田町大字五町田乙 287-1

TEL 0954-66-4207 / FAX 0954-66-3747 / E-mail info@fromform.jp

このニューズレターは、これまでご注文いただいた方、サンプルをお送りしました方、名刺交換をさせていただいた方など、ご縁がありましたみなさまにお送りしております。必要のない方は、たいへんお手数ですがその旨を上記までご連絡ください。

淵野 陶磁器

<https://fromform.jp/>